

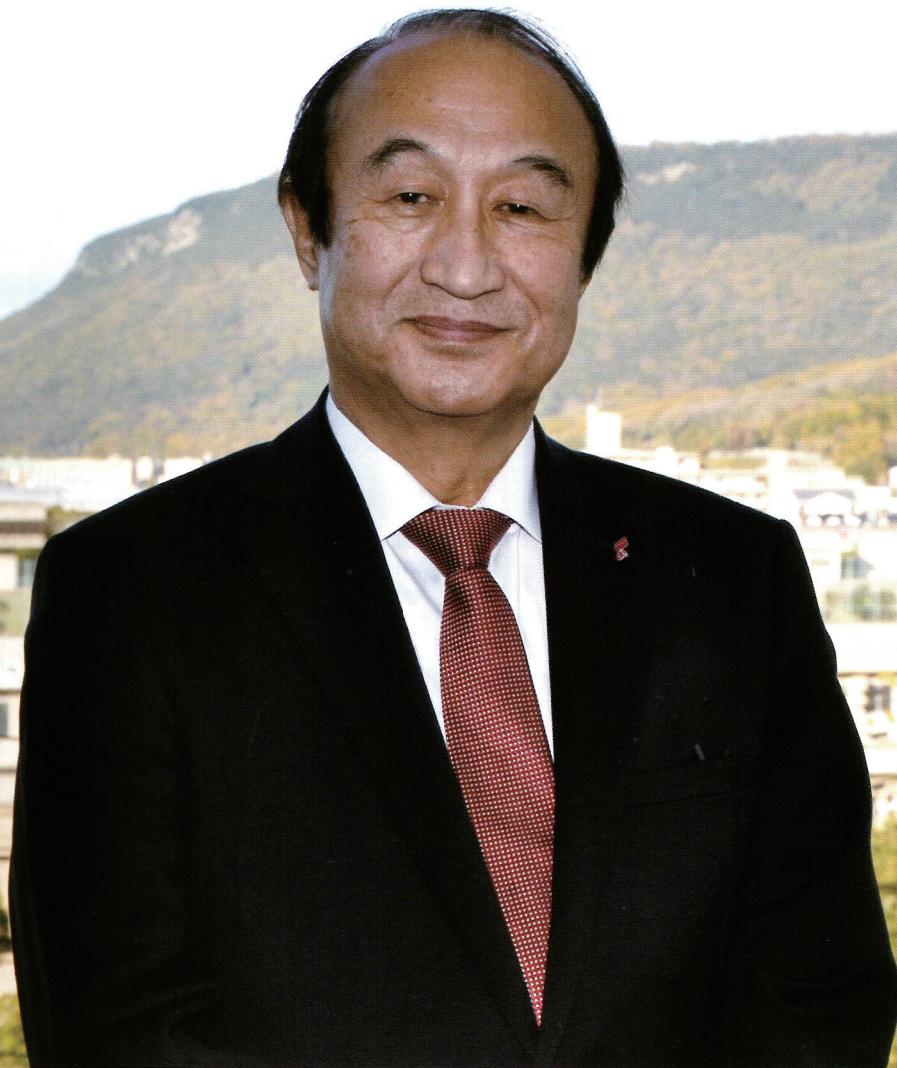
トップに聞く

世界で活躍できる観光人材を養成

「もともと、教職に就きたかった」そう話す青木学長は長く観光の最前線で実務に携わってきた。

世界からの視点と培った経験を活かし、いま、香川県で新たな観光専門職業人を育てる。

観光分野の専門職短期大学は、まさに日本初。ここで行われる教育が、日本の観光業界を変えていく。



学校法人穴吹学園

せとうち観光専門職短期大学

2021年4月開学

学長 青木 義英 氏

(高松市屋島西町 2366-1)

1972 日本航空㈱入社

1997 同社宮崎支店長

2001 日本アジア航空㈱関西支社長

2003 日本航空㈱マドリード支店長

兼㈱ジャルパック スペイン社長

2008 鈴鹿国際大学（現：鈴鹿大学）国際人間学部国際課特任教授

和歌山大学観光学部 非常勤講師・特任教授・客員教授

2021 せとうち観光専門職短期大学 学長就任

△日本初の観光専門職短大の特色は

観光立国日本を国家プロジェクトで取り組むなか、本学の役割は観光プロフェッショナルとしての人材を育成することです。

例えば医学部を卒業すれば、ほとんどの人が医学の世界で仕事をする。本校で学び卒業して、観光分野で仕事をすることを目指します。

「観光」と言うのは、そういう意味で専門職だということを文部科学省に認めて頂くことが大変でした。

医療分野のリハビリなら専門職なわけですが、観光というのは果たして専門職なのか、ここが一つのポイントとなつて、理解して頂くのに予想以上の時間を要しました。

すでに国立大学では和歌山大学、琉球大学、北海道大学等に、観光に関する学部・学科があるわけですが、観光のプロフェッショナルというわけではありません。なぜかといふと、観光学は確立された学問であるといふことが日本では定着していないからです。

観光学を知った上で、実際に現場で活躍できる人材を輩出するといふことが大きなポイントになります。

△どういった人にどのように学んで欲しいですか？

我々は意欲のある方を歓迎しま

す。まずは、観光というもので何かやつてみたい！という人にきて欲しい

企業内実習も行います。現場では、理論で学んだこととギャップがあり

ます。このギャップを埋められない

ことが離職に繋がるわけです。その

が自分に合う職を選択できるようになるなど、ミスマッチの無い就職と

いうことを重視しております。

本学の特色でいうと、理論の部分に関して臨地実務実習を行うことで、学生

が自分に合う職を選択できるようになるなど、ミスマッチの無い就職と

いうことを重視しております。

本学では、大学並みの理論系科目と臨地実務実習のような実務系科目を相互に結び付けながら学修することができます。なおかつ3年間に凝縮しているのです。

卒業単位96単位のうち、90単位が

広告欄

ります。必要な科目は必須になつて

いるため、無駄のない効率的な教育課程になつています。

専門学校の卒業生ともやはり違います。

理論、知識を身につけた即戦力

ということと、現場をまとめること

堅リーダー的なポジションで活躍することを期待しています。

▽学長を引き受けた経緯は

ある学校法人の理事長から、香川県で観光の学校を作りたいと言う話がある、一度、観光とはどうものか話をしてくれないか？と頼まれ香川にやつてきました。その時は学長をすることなど考えてもいませんでしたが、その後ご縁が続きお引き



受けすることとなりました。

大学に10年以上いたので、大学の組織がどういったものであるのか、大学経営とはどういったものであるかは、大体分かつていました。

その経験上、人材を集めることの重要性、厳しさは理解していました。

本当に何もないところから始めたので、協力してくれる人を集めることに苦労しました。

ありがたいことに、私が声をかけた人たちが集まってくれ、この人たちに迷惑をかけるわけにはいかないので、是が非でも開学させるという強い思いでここまでたどり着きました。

米人に人気があります。これがすごく良い発信元になるわけですから、

全体を盛り上げていくことが非常に重要だと考えています。

▽香川県にはどういった専門職の人材が必要か

一番重要なのは異文化を理解できる人です。そして、当たり前のことを見当たら前と思わずには疑つてかかる人材です。これが非常に重要なことです。異文化を理解出来る人がいなければ、外国人観光客を理解できません。自分の都合だけで、物事を進められるのではなく、来た方の文化で話を進めなければなりません。

▽香川県の観光地の印象は

今はコロナ禍で状況が違います
が、香川県は四国の中でも海外からの観光客が非常に多いところです。
しかし、この香川県で泊まつてゆつくり観光をする人は少ないです。香川では栗林公園を見て、そのままバスで関西などに行つてしまふ。それ

いるのは良いのですが、有機的に他と絡めていけば、

大学と同等の理論・知識も身につける。経験豊かな職員のもと、社会に

より良くなるはずです。瀬戸芸は現代アートなので欧米人に人気があります。これがすごく良い発信元になるわけですから、

から国内観光です。コロナ禍でインバウンドが来てくれないという話が多いですが、インバウンドが増えたと言われた頃でも、消費額を見ていくと約6割が国内旅行です。国内旅行で、自由に行

く、観光には、3種類あります。我々が海外に行くアウトバウンド、海外から日本に来るインバウンド、それ

▽現在の観光をどう見る

観光には、3種類あります。我々が海外に行くアウトバウンド、海外から日本に来るインバウンド、それ

▽広告欄

務実習など実践力を養い、尚且つ、あつという間に回復すると考えています。

実際に安心感のあるワクチンが完成すれば、日本のなかでしつかり観光は回復します。

風光明媚な自然、名勝旧跡という

のが観光と思われがちですが、肝心

なのは、観光客がどう見てているかと

いうことです。その眼差しを見つけられる人材が重要だと思っています。

瀬戸内に「猫の島」と呼ばれている島がありますが、そこに外国人観

光客がやつてきてSNSなどで非常

に話題になつた。誰もあそこが観光

出来ができるようになれば、観光は

大學と同等の理論・知識も身につけます。

本学では、航空・鉄道、宿泊、観光地域創生のクラスごとに、臨地実

広告欄

瀬戸内国際芸術祭で盛り上がりがつて
光地城創生のクラスごとに、臨地実

地になるとは考えていなかつたと思います。そういう眼差しに敏感に対応できる人材が求められているのです。

▽香川県民、観光業界に向けてメッセージを

私は親戚縁者、全く香川県にはいません。それでも香川県に越してきて一度も困ったことがありません。これは、穴吹理事長も仰っています。みんなが助けてくれるのが、これが、「おせつたい」の文化が根付いているからだと思います。困った時、みんなが助けてくれるのが、この香川県です。特に我々のように県外から来た人間から見ると、ものす



ごく価値があると感じました。私も転勤族でしたから分かりますが、新天地での生活では何かと困るものですね。ですが高松に赴任して以来、そんな思いをしたことはもちろん、この文化を観光客に向けてもらい、もつともっと全面に出して頂きたいです。

「おせつたい」の精神は本当に素晴らしい。この「おせつたい」の文化がある香川県の観光はまだまだ伸びます。表現は不謹慎かもしませんが、香川の観光の武器、要になるのではないかでしょうか。

【聞き手／中川正道 竹市眞弓】